

NGK2024S 開催結果報告書

この度は NGK2024S へのご支援ならびにご参加頂きまして誠にありがとうございました。

本報告書では NGK2024S（以降、2024S）にご支援頂きましたスポンサー費用の使途ならびに開催結果についてご報告いたします。

1. 収支

受領いたしましたスポンサー費用ならびに懇親会費の収支概要は表 1の通りです。

項目	金額
総収入	¥424,400
総支出	-¥428,233
差引収支	-¥3,833

表 1: 収支概要

またスポンサー費用は主に以下使途で活用致しました。ありがとうございました。詳細な内訳は別添の「収支報告書」をご参照ください。

- 配信費用（配信システム利用料・機材購入費等）
- 懇親会費用の補助

これまでのオフライン開催では会場借用費用の負担が大きく、スポンサー費用の使途のほとんどを充てる必要がありました。2024S 開催では会場提供スポンサー様より会場を提供頂いたことでスポンサー費用を「より良い開催のための費用」として活用することができました。

配信については、これまで運営メンバーの私物配信機材を用いてオフライン開催のリアルタイム配信もしくはオンライン開催を実施してきました。

2024S 開催ではスポンサー費を活用し新たな配信機材を購入できたことで、初のハイブリッド開催を行うことができました。

ハイブリッド開催におけるオンラインLT発表は転職・就職等で名古屋を離れた方も参加可能であることから、コミュニティとの繋がりを切らさない、またコミュニティをより広く発展させる意味で有用と考えています。

今回購入した配信機材を活用し、今後もより良いハイブリッド開催を目指していきたいと考えています。

懇親会では、これまで夜の部学生参加者にも 1000円程度の費用負担を頂いていましたが、2024S 開催では無料とすることができました。

今後のコミュニティを担っていく学生参加者の参加ハードルを下げ、より広く参加頂けるNGKを目指したいと考えています。

なおスポンサー費用および懇親会費受領において発生する消費税は、費用授受代行を行う有限会社来栖川電算より納付いたします。

また差引収支における不足分は、費用授受代行を行う有限会社来栖川電算より補填頂きました。

2. 開催結果/参加者

2.1. 参加者数内訳

2024S 開催当日のイベント参加者数は表 2の通りです。

	オフライン	オンライン	合計
昼の部（LT大会）	89	2	91
夜の部（懇親会）	63	-	63

表 2: イベント参加者数内訳

これまでの開催における参加者数および昼の部に対する夜の部の参加比率推移を図 1に示します。なお 2021S の夜の部・夜の部参加比率が空白となっていますが、これは夜の部を区別しての募集を行わなかったためです。

昼・夜の部参加者数では、直近のオフライン開催となった 2020S の参加者数と比較して約70%程度の参加者数となりました。ただし 2024S の当初募集定員は 80名としており、想定以上に参加いただきました。

また夜の部参加比率は直近のオフライン開催 2017B～2020S と概ね同等となりました。

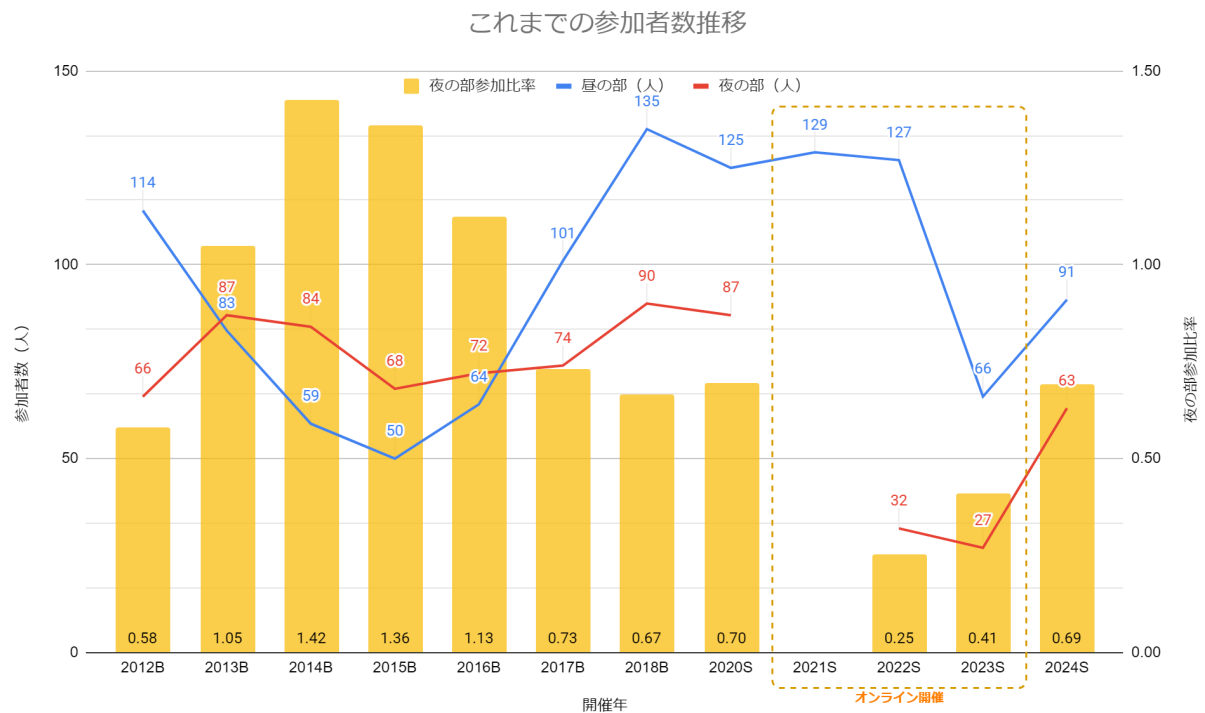
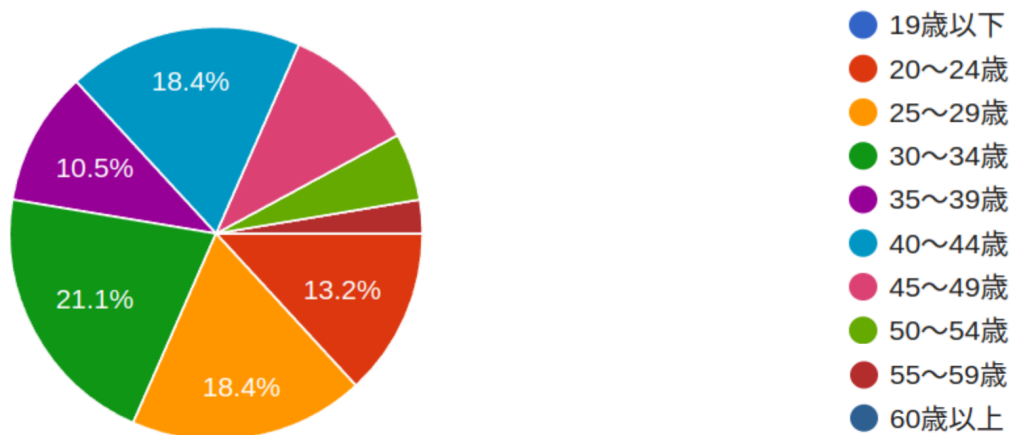


図 1: これまでの参加者数推移

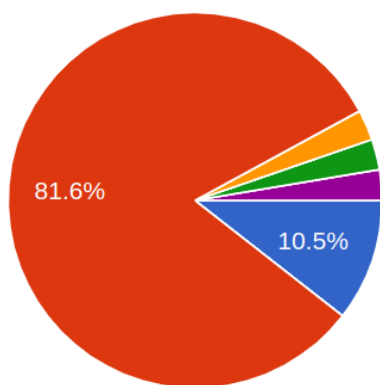
2.1.1 アンケートにおける参加者内訳

2024S 開催後のアンケート結果における参加者の内訳は図 2 の通りです。(回答数: 38)

年代を教えてください

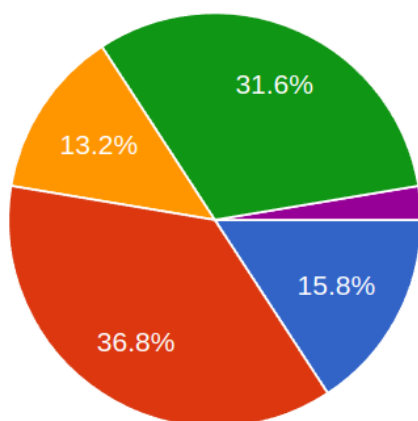


職業を教えてください



- 学生
- 社会人（ITエンジニア関連職）
- 社会人（ITエンジニア関連職以外）
- 主夫
- 自営業

NGK2024Sの開催をどこで知りましたか



- twitter
- 知人（会社の同僚以外）の紹介
- 会社の同僚の紹介
- connpassからの通知
- コミュニティへの直接連絡

図 2: アンケートにおける参加者内訳

2. 開催結果/参加コミュニティ

2024S では 12コミュニティに参加頂きました。参加コミュニティは表 3の通りです。

(申し込み順)

コミュニティ名	過去参加実績
機械学習名古屋 研究会	NGK2023S参加
JuliaTokai	NGK2023S参加
JAWS UG 名古屋	NGK2023S参加
Ruby東海	初参加
OWASP Nagoya	初参加
MatsuribaTech	初参加
CoderDojo 稲沢・名古屋・ 師勝・尾張	NGK2023S参加
東海道らぐ	NGK2023S参加
Liven up NAGOYA	初参加
nagara.rb	初参加
CDLE名古屋	初参加
CMC_Meetup 名古屋	初参加

表 3: 参加コミュニティ一覧

これまでの開催における参加コミュニティ数推移を図 3に示します。なお明確に「参加コミュニティ」として募集を開始した 2022S 以降の実績を集計しています。

2023S と比較して、2024S 開催では2コミュニティ減となりました。また参加頂いた 12コミュニティ中 7コミュニティが初参加でした。これらの初参加コミュニティではLT発表希望者に対してNGK運営メンバーより参加を提案し、結果として参加頂いた事例が多く見られました。
これはコミュニティ参加そのものの周知が不足していたためと考えられ、今後周知方法等の改善が必要があると考えています。

またこれまでの開催では参加頂いていたものの、今回の開催では参加頂けなかったコミュニティがありました。
これらのコミュニティでは現在アクティブに活動していないといった理由で断られた事例の他に、打診したものの返答が得られなかった事例・NGK運営メンバーとコミュニティ参加者との直接の繋がりが無くコミュニティ参加の提案が難しい事例等がありました。
今後は各コミュニティ参加者にNGK運営メンバーとして参加いただく等、各コミュニティとの連携を深めたいと考えています。

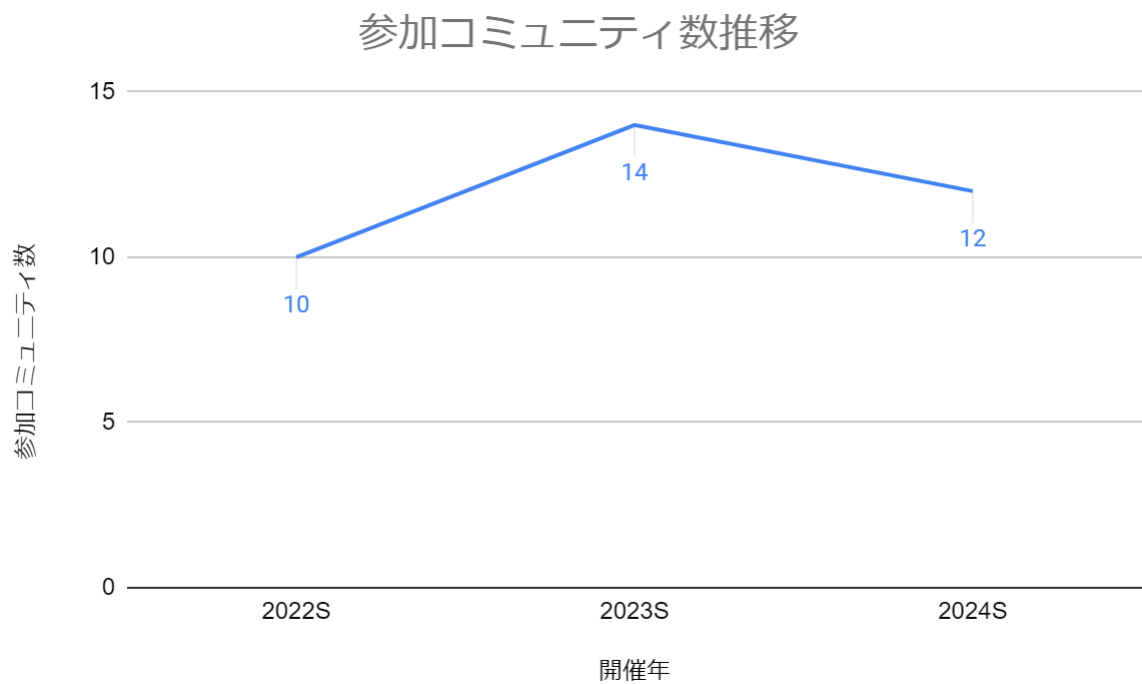


図 3: 参加コミュニティ数推移

3. 開催結果/配信視聴者

3.1. リアルタイム配信

2024S 開催ではYoutubeLiveによるリアルタイム配信を行いました。視聴者数は表 4の通りです。

配信URL: <https://youtube.com/live/auDtvF85QqQ>

種別	視聴数
視聴回数	138
同時視聴者数/最大	13
同時視聴者数/平均	8

表 4: ライブ配信視聴者数

3.2. 録画配信視聴者数

2024S 開催終了後各LTグループごとにチャプター分けを行い、動画およびプレイリストとして公開しました。2024/05/17 時点での視聴者数は表 5の通りです。

プレイリストURL: https://www.youtube.com/playlist?list=PLdSTSx4RPmMJ2_vIU8trsxDVt2YeeyBtU

チャプター	種別	視聴数
#1	視聴回数	126
	ユニーク視聴者数	23
#2	視聴回数	20
	ユニーク視聴者数	13
#3	視聴回数	29
	ユニーク視聴者数	20
#4	視聴回数	16
	ユニーク視聴者数	14
#5	視聴回数	24
	ユニーク視聴者数	14

表 5: 録画配信視聴者数

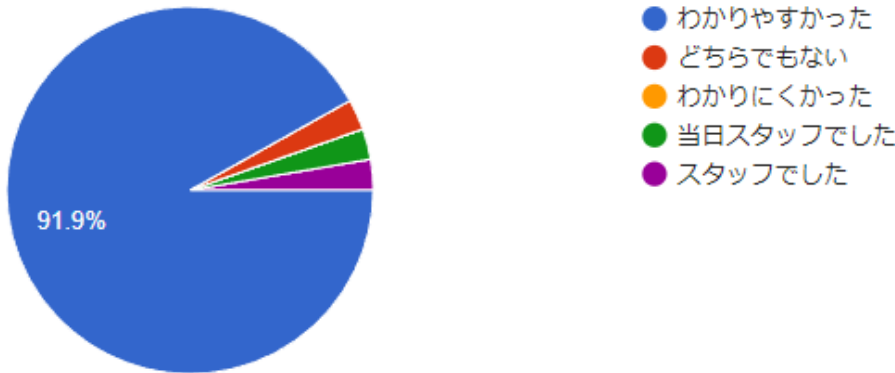
4. 開催結果/参加者アンケート結果

2024S 開催終了後、オフライン参加者に対してアンケートを実施しました。ここではアンケート結果をご報告いたします。

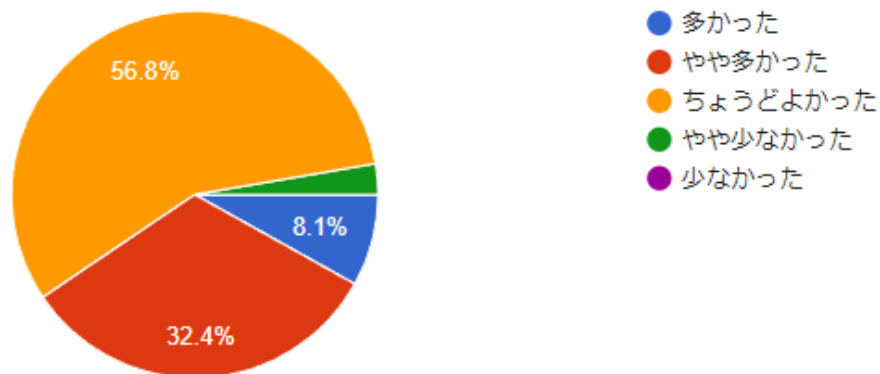
4.1. 昼の部

昼の部参加者のアンケート結果は図 4の通りです。（全て回答数: 37）

受付のフローはいかがでしたか



LTの数はいかがでしたか



開催時間はいかがでしたか

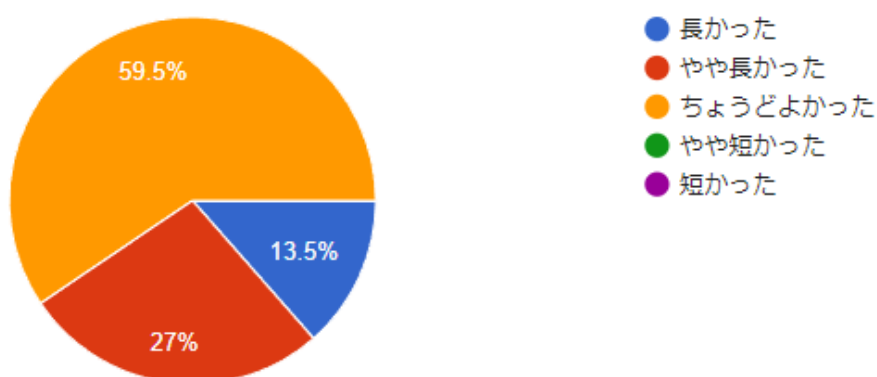


図 4: アンケート結果 昼の部

以下のご意見ご感想を頂きました。

- 長丁場疲れもありますが、とても面白かったです！ありがとうございました！！
- 少し画面で表示されるQRコードが距離が遠くて読み取れないことがある
- 多くのコミュニティなどに出会えて良かったです
- 知らない世界を知れて楽しかったです
- 疲れるけど昼から夜まで開催することがNGKの良さなので変えないで欲しい
- ありがとうございました。楽しかったです！
- 長かったですですが楽しく過ごさせていただきました
- スポンサー、コミュニティセッションがだいぶ多いと感じた。もっとカオスな発表者を増やしていきたい。
- 長かったけど面白かったです
- 時間は長いけど、年に一度の会だと思おうとそうでもなくて、評価が難しい。
- 楽しかったです！
- エンジニアリング以外の話題に関するLTが新鮮でよかった

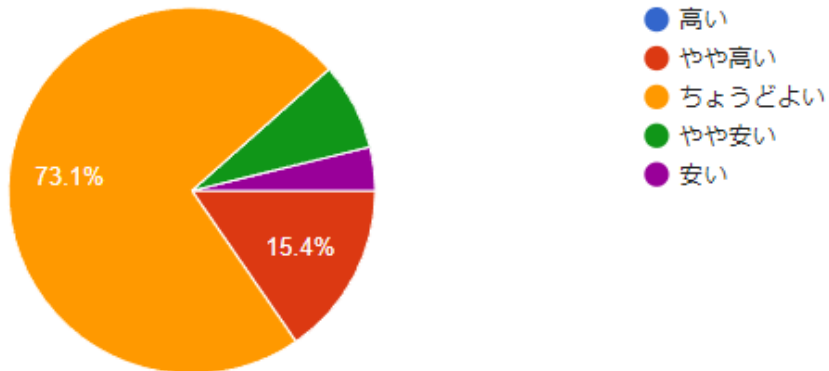
一部運営フローでの課題は残るものの概ね好評価をいただきました。

4.2. 夜の部

昼の部参加者のアンケート結果は[図 5](#)の通りです。

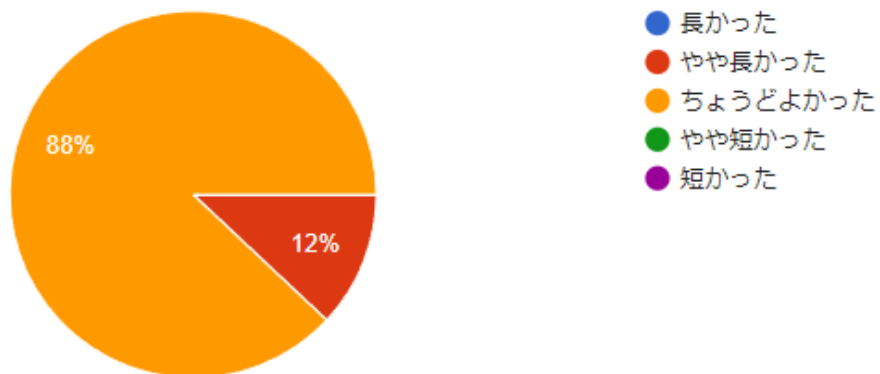
料金設定はいかがでしたか

(回答数: 26)



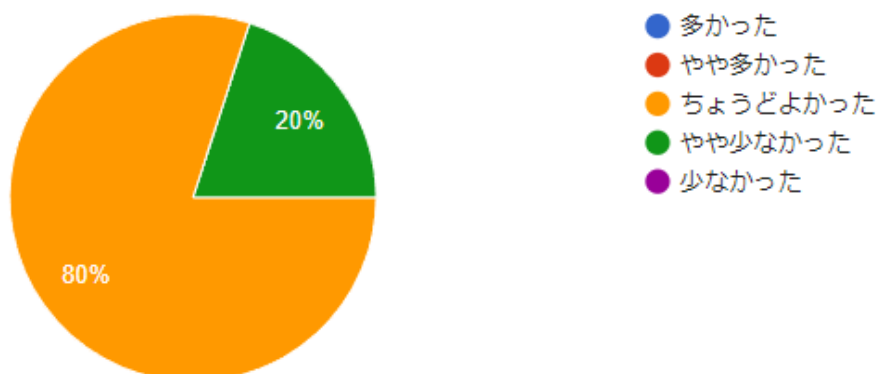
開催時間はいかがでしたか

(回答数: 25)



料理の量はいかがでしたか

(回答数: 25)



料理の味・質はいかがでしたか

(回答数: 25)

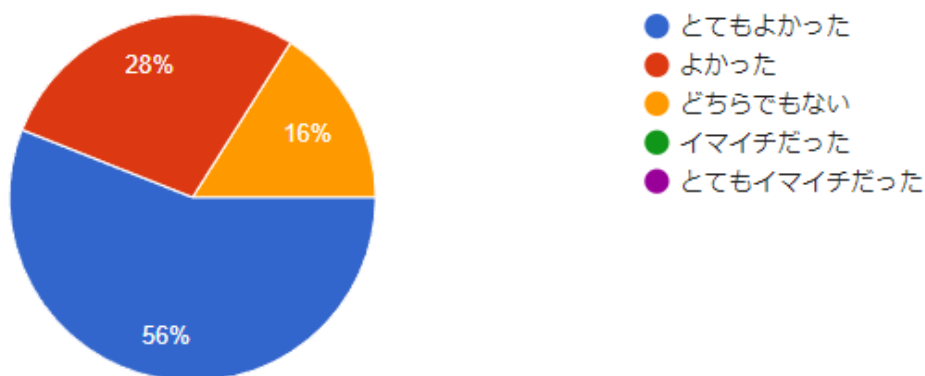


図 5: アンケート結果 夜の部

以下のご意見ご感想を頂きました。

- 話しかけるの緊張しましたが頑張りました
- 立食だとやはりドリンクを持ちながら食べるのが大変。専用ホルダーや、席の提供を前提にしてもよかったと思う。
- 素晴らしいケータリングサービスでした
- 会場が広がったのがとても良かった。料理店だと着席式で、移動に苦労することがあるのが、今回はその辺りで不自由に思うことがまったく無かった。
- スポンサーが費用を負担してくれるかどうかをもう少し早めに設定出来ればスムーズに支払いを進めれたと思う
- 様々な方と交流を持つことができよかった

2024S 開催では初めてケータリングサービスを採用しました。昼の部からの移動が不要であるため参加者のみならず運営メンバーの負担も軽減できたと考えています。

また懇親会費用補助によって料金設定を抑えながら料理の味・質の満足度を高めることができた一方で、懇親会参加人数・費用補助可能額の調整が難しく募集開始が遅れてしまう結果となりました。また、当日急遽参加者が出たことで一部の参加者には料理量が少なめに感じられたものと考えています。

2024S 開催の知見を生かし、今後もより参加しやすく満足度の高い懇親会に改善したいと考えています。

4.3. 全体

全体を通して以下のご意見感想を頂きました。

- 少ししか参加できず申し訳ありませんでした。次回はがっつり参加したいです！
- 楽しく発表させていただきました。ご準備、ありがとうございました。
- ありがとうございました！
- 開催ありがとうございました。今でも十分参加コミュニティは多いですが、それでもまだ（名古屋のコミュニティに関わり始めて日が浅い人たちを中心に）開催が浸透してない感があるので、いち参加者としてももっとうまく周辺への参加呼びかけができたら良いな、と思いました。
- 全体を通してオペレーションがよく出来ていたように見え、参加者としての体験は非常によかったです。Wi-Fi が使えると嬉しかったですが、会場の都合で仕方ないこととは思います。細かいことを言うと、LT レギュレーションがわからず Discord で質問してしまいました。せっかく GitHub リポジトリに各種ドキュメントがまとめられていて素晴らしいのに、GitHub Pages の index が空で探さなかったので、index から各ページにリンクだけでも貼ってあると良いと思いました。
- 今年も楽しかったです。オーガナイザの交代のほか、久々のオフライン開催ということで大変だったでしょうが、大満足でした。ありがとうございました。
- 一日お疲れ様でした！オフライン開催楽しく過ごすことができました。
- 久々のオフライン開催お疲れ様でした！来年も楽しみにしています！
- 大変良い機会をいただきまして、ありがとうございました
- 年に一回だけではなくもう少し回数を増やして欲しいです！
- 名古屋でここまで多くのコミュニティ・人数を集めるイベントは数少ないと感じており、大変良い機会でした。ぜひまた来年も参加させて頂ければと思います。
- 運営の方々お疲れ様でした！これだけの規模の開催は大変そうだなと感じました。特に主催の手を挙げていただいたうさこさんの勇気には感服いたしました。ありがとうございました！
- 非常に良い機会を頂きありがとうございました、運営の皆様に感謝申し上げます。僭越ながら一点、こちらの不手際ではありますが、connpassの参加者のみ公開情報を見落としたという当方の落ち度によりスムーズに32階に到達出来ないということがありました。connpassの参加者のみ情報の仕組みを知らない、参加申し込み以降ログイン状態で懇親会ページを閲覧してない、当日もconnpassにログインせずに会場情報を見る、の場合に問い合わせフォームの存在を全く知らずに詰む状況に陥ってしまう（しまった）。こちらが事前にシステムを理解するべきだとは重々承知の上で、非ログイン状態において「詳細な参加方法は参加者のみ表示」等を明記していただけると、より親切だなと感じました。32階に上がってからは非常に充実し有意義な時間を過ごすことができ、会の準備に関わっていただいた方々に感謝の気持ちで一杯です。

コミュニティへの周知については前章「開催結果/参加コミュニティ」での記載と同様に、周知方法等の改善は課題であると考えています。

またオンライン開催となった2021SよりLTレギュレーション・connpassページ等のgithubを用いての管理を進めてきました。2024S 開催では管理範囲をより拡大し運営手順等のドキュメントも含めての管理を試みましたが、現状運営メンバーの不足のため管理に手が回らない、管理コストが高い等の課題が残ります。今後運営・開催への参加の敷居を下げ、NGK・コミュニティの繋がりをより広く発展させるためにも運営メンバーの増強・管理方法の改善を進めたいと考えています。

5. まとめ

2024S 開催では3年振りのオフライン開催、また初のハイブリッド開催（オンラインLT発表）を実施しました。NGK運営メンバーのほとんどがオフライン開催運営未経験である中、無事終了できましたのはスポンサーの皆様のご支援、また参加者・コミュニティ・過去NGK運営メンバーの皆様のご協力によるものと感謝しております。

2024S 開催で得られた知見の活用また課題の改善を行い、「東海地方に縁のあるIT系コミュニティの発展」により貢献したいと考えております。

今後ともNGKの開催にご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。